事業計画書

様式第2号-1

■当初 □最終

作成年月日	2024年 5月 25日
法人名	合同会社 マノア・リノ
代表者職名前	代表社員
担当者名	連絡先

受理	2024年 2月 27日	
関係者への意見聴取	☒ 市 建築指導課 消防局予防課 開発指導課 ☒ 福山市障がい福祉サービス等の指 定に係る懇話会 ☐ ☐	
	回答	2024年 7月 16日

1 協議事項

事業種別	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業	事業所名	学びのサポート キャンパス	開設(変更)予 定日	2024年9月1日
------	--------------------------	------	---------------	---------------	-----------

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
☒ 新規事業所の開設 ☐ 事業の追加	☐ 共生型サービス ☒ 共生型サービス以外	☐ 新築予定	☐													
	☐ 賃借・自己所有 ☒ 多機能型サービス	☐ 新築予定 ☒ 賃借・自己所有 ☐ 現在地	☐													
☐ 定員の変更	☐ 就労継続支援A型 ☐ 共同生活住居の追加 ☐ 上記以外	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	☐ 大幅な事業内容の変更 ※△は生産活動を行う事業 ☐ 事業所の移転 ☐ 建物の構造・設備の変更	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

専門学校教員や放課後等デイサービスの指導員として、様々な子どもたちの育成について長年携わってきました。子どもたちと関わる中で、自己肯定感の低さの驚き、『認めて・褒めて・大事にする』療育の大切さを知り、自己肯定感を高め、出来ることを伸ばし何事にも挑戦する気持ちを育む大切さを学びました。また、『一般社団法人 日本医療福祉教育コミュニケーション協会』の活動にも携わり、『発達障害コミュニケーション指導 初級』の講師として全国各地でセミナー活動も行い、保育士、児童指導員や保護者の方々に発達障害の人との関わり方について伝えてきました。 これまで学んだ知識や経験を、自分の育った福山市で活かすことが出来ればと以前から考えており、『児童発達支援管理責任者』の資格取得を機に、地元福山で『褒めて伸ばす療育』の新規事業の開設を決意いたしました。子どもたちや携わる方々が福山市で育つ幸せを感じられるよう、地域社会と連携しより良い療育支援を行いたいと考えています。	意見
--	----

3 法人の概要

設立年月日	年 月 日	意見		
法人が実施する主な事業	① 放課後等デイサービス事業	割合	85	%
	② 児童発達支援事業所	割合	15	%
	③	割合		%
法人の理念	できることから少しずつ みんなが褒め合える明るい未来を実現する			
法人の基本方針	本人の得意なことや出来ることをスモールステップで取り組み『褒めて伸ばす』療育を提供する。子どもや保護者が地域で安心して生活できるためサポートをする。			

4 法人の主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件			意見
国保連合会	100 %	100 %	末日	前々月 15	日回収	
	%	%	日		日回収	
	%	%	日		日回収	

5 施設の概要【平面図は7のとおり】

土地	所在地	広島県福山市春日町一丁目5番55号		用途区域	第二種住居地域		意見				
	所有者			抵当権	☐ あり						
建物	名称	メゾン・ヌーベルアイ 103						<p>今回計画の児童発達支援・放課後等デイサービスの建築基準法上の用途は「児童福祉施設等」に該当しますが、用途を変更する床面積が200㎡以下のため、建築基準法上の手続きは不要。なお、手続きが不要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画とすること。</p> <p>消防用設備等について新たに必要となる設備はないが、入居テナント内でカーテン、じゅうたん等を使用する場合は防災物品にすること。</p>			
	所有者			抵当権	☐ あり						
	用途	放課後等デイサービス									
	階層	3階	地上	1階	地下	階	建築年		1995年10月	年	
建築面積	190.06			㎡	延面積	493.82			㎡		
事業の概要	①	種別	児童発達支援・放課後等デイサービス								
		手続	新規	使用する階	1階	専有面積	67.4		㎡		
		収容人員	9	人	内訳	職員	4		人	利用者	10
	②	種別									
		手続			使用する階	階	専有面積		㎡		
		収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人
	③	種別									
		手続			使用する階	階	専有面積	㎡			
		収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人
内容	申請種別	☐ 新築 ☐ 増築 ☐ 用途変更 ☐ 移転 ☐ その他									
	マンションの1階にあるテナント1室を利用して児童福祉施設として開所します。										

6 付近図

<p>小学校区 緑丘/日吉台 学区 人口 13,107 人 同種の事業所数 10 事業所 利用定員合計 100 人</p> <p>当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載)</p> <p>【近隣小中学校】児童数1573人(支援級 126人) ※ 緑丘小学校・伊勢丘小学校・日吉小学校・培遠中学校 車で10分圏内にある緑丘学区・日吉学区・伊勢丘学区等の人口や世帯数の推移、小中学校の児童数や支援級利用数、同種の事業所数の受入人数から考えると、この地域で1日平均利用者数10名を確保することは可能と考えています。</p> <p>※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。</p> <p>一次避難先までの距離 50 m 移動手段 徒歩</p> <p>二次避難先までの距離 350 m 移動手段 徒歩</p> <p>付近図省略</p>	<p>意見</p>
--	-----------

7 平面図

- ※平面図のデータを貼付(貼付が難しい場合は、別添とすること。)
- ※各部屋・設備の名称及び面積を記載すること。
- ※敷地内に屋外遊技場等がある場合は、合わせて記載すること。

意見

支援(集団療育)を行う際の
スペースを工夫すること。

別紙 参照

事業計画書

様式第2号-2

当初 最終

受付印

2024/7/25受付

作成年月日	2024年7月25日
法人名	合同会社 マノア・リノ
代表者職名前	代表社員
担当者名	連絡先

1 協議事項

事業種別	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業	事業所名	学びのサポート キャンパス	開設(変更)予定日	2024年9月1日
------	--------------------------	------	---------------	-----------	-----------

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協議の種類	☒ 新規事業所の開設	☐ 共生型サービス	☐													
	☐ 事業の追加	☒ 共生型サービス以外	☐													
		☐ 多機能型サービス	☐													
		☐ 就労継続支援A型	☐													
	☐ 定員の変更	☐ 共同生活住居の追加	☐													
		☐ 上記以外	☐													
	☐ 大幅な事業内容の変更 ※△は生産活動を行う事業		☐													
	☐ 事業所の移転		☐													
	☐ 建物の構造・設備の変更		☐													
			☐													

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

<p>専門学校教員や放課後等デイサービスの指導員として、様々な子どもたちの育成について長年携わってきました。子どもたちと関わる中で、自己肯定感の低さの驚き、『認めて・褒めて・大事にする』療育の大切さを知り、自己肯定感を高め、出来ることを伸ばし何事にも挑戦する気持ちを育む大切さを学びました。</p> <p>また、『一般社団法人 日本医療福祉教育コミュニケーション協会』の活動にも携わり、『発達障害コミュニケーション指導 初級』の講師として全国各地でセミナー活動も行い、保育士、児童指導員や保護者の方に発達障害の人との関わり方について伝えてきました。</p> <p>これまで学んだ知識や経験を、自分の育った福山市で活かすことが出来ればと以前から考えており、『児童発達支援管理責任者』の資格取得を機に、地元福山で『褒めて伸ばす療育』の新規事業の開設を決意いたしました。子どもたちや携わる方々が福山市で育つ幸せを感じられるよう、地域社会と連携しより良い療育支援を行いたいと考えています。</p>	<p>主な修正点</p>
--	--------------

3 法人の概要

設立年月日	2024年3月15日	主な修正点	
法人が実施する主な事業	① 放課後等デイサービス事業	割合	85 %
	② 児童発達支援事業所	割合	15 %
	③	割合	%
法人の理念	できることから少しずつ みんなが褒め合える明るい未来を実現する		
法人の基本方針	本人の得意なことや出来ることをスモールステップで取り組み『褒めて伸ばす』療育を提供する。子どもや保護者が地域で安心して生活できるためサポートをする。		

4 法人の主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
国保連合会	100 %	100 %	末日 前々月 15 日回収	
	%	%	日 日回収	
	%	%	日 日回収	

5 施設の概要【平面図は7のとおり】

土地	所在地	広島県福山市春日町一丁目5番55号			用途区域	第二種住居地域		主な修正点			
	所有者				抵当権	☐ あり					
建物	名称	メゾン・ヌーベルアイ 103									
	所有者				抵当権	☐ あり					
	用途	放課後等デイサービス									
	階層	3階	地上	1階	地下	階	建築年	1995年10月	●店舗については建築士に相談し、建築基準法に適合していると確認済みです。 ●消防署指導の元、テナント内の設備については、防災物品を購入します。		
建築面積	190.06			m ²	延面積	493.82					
事業の概要	①	種別	児童発達支援・放課後等デイサービス								
		手続	新規	使用する階	1階	専有面積	67.4			m ²	
	収容人員	9	人	内訳	職員	4	人	利用者		10	人
	②	種別									
		手続			使用する階	階	専有面積			m ²	
	収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者			人
③	種別										
	手続			使用する階	階	専有面積				m ²	
収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人		
内容	申請種別	☐ 新築 ☐ 増築 ☐ 用途変更 ☐ 移転 ☐ その他									
	マンションの1階にあるテナント1室を利用して児童福祉施設として開所します。										

6 付近図

小学校区 緑丘/日吉台 学区 人口 13,107 人 同種の事業所数 10 事業所 利用定員合計 100 人	主な修正点
当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 【近隣小中学校】児童数1573人(支援級 126人) ※ 緑丘小学校・伊勢丘小学校・日吉小学校・培遠中学校 車で10分圏内にある緑丘学区・日吉学区・伊勢丘学区等の人口や世帯数の推移、小中学校の児童数や支援級利用数、同種の事業所数の受入人数から考えると、この地域で1日平均利用者数10名を確保することは可能と考えています。	凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先
※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。	
一次避難先までの距離 50 m 移動手段 徒歩	
二次避難先までの距離 350 m 移動手段 徒歩	
付近図省略	

※平面図のデータを貼付(貼付が難しい場合は、別添とすること。)
※各部屋・設備の名称及び面積を記載すること。
※敷地内に屋外遊技場等がある場合は、合わせて記載すること。

主な修正点

●中央の机を移動して、広く集団療育ができるスペースを確保します。

別紙 参照

8 従業員

職種	雇用形態		名前	年齢	月給		主な修正点			
管理者	☒	常勤		51	25	万円	●開所時はこの計画人員で運営したいと考えております。 利用者数の増員に伴い、スタッフ増員や従業員の処遇について計画しております。 ●スタッフ 年齢・月給の修正			
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者	☒	常勤				万円				
児童指導員	☒	常勤	☐	44	23	万円				
保育士	☐	常勤	☒	37	21	万円				
指導員	☐	常勤	☒	52	9	万円				
	☐	常勤	☐			万円				
	☐	常勤	☐			万円				
	☐	常勤	☐			万円				
	☐	常勤	☐			万円				
	☐	常勤	☐			万円				
	☐	非常勤				万円				
	☐	非常勤				万円				
月給計					78	万円				
人件費	15	日	25	日	支払	ボーナス	6	月	12	月

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
	設備資金・運転資金	4 5 0 万円	8 0 万円	●借入残高・年間返済額の修正
	運転資金	4 5 0 万円	8 0 万円	
			万円	

10 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額	調達方法	金額	主な修正点
設備資金	土地	0 万円	補助金	万円	●運転資金・自己資金・借入金の修正
	建物	15 万円	自己資金	300 万円	
	設備	245 万円	借入金	900 万円	
	車両	万円			
	その他	万円			
運転資金		940 万円			
合計		1,200 万円	合計	1,200 万円	

11 事業の見通し

		1月目	2月目	3月目	1年後		主な修正点
利用者見込 A		5 人	5 人	5 人	15	人	●收支計画書を修正しました。 賞与について計上 ●送迎については『諸経費』に含めて計上しております。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)		6 万円	6 万円	6 万円	8	万円	
収入	給付費 ※2	0 万円	0 万円	32 万円	99	万円	
	諸収入	万円	万円	万円	万円	万円	
収入計 ①		0 万円	0 万円	32 万円	99	万円	
支出	人件費	70 万円	70 万円	70 万円	70	万円	
	旅費・交通費	万円	万円	万円	万円	万円	
	賃借料	9.9 万円	9.9 万円	9.9 万円	10.4	万円	
	通信費	2 万円	2 万円	2 万円	2	万円	
	諸経費 ※4	27.5 万円	27.5 万円	27.5 万円	11.5	万円	
	支払元金利息	0 万円	0 万円	0 万円	15	万円	
	支出計 ②	109.4 万円	109.4 万円	109.4 万円	108.9	万円	
収支 ①-②		-109.4 万円	-109.4 万円	-77.4 万円	-9.9	万円	
生産活動	収入 B	万円	万円	万円	万円	万円	
	売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	万円	
	支出 C	万円	万円	万円	万円	万円	
	必要経費	万円	万円	万円	万円	万円	
	利用者賃金	万円	万円	万円	万円	万円	
最賃確保状況 (A型) (((B-C)/25)/8)/A		円	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

児童発達支援:基本報酬

放課後等デイサービス:基本報酬+送迎

※2 給付費は、サービス提供月の翌々に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	☐ あり ☐ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間の生産額	計算式	1月当たりの生産額
	円 × H ×	日 × 人 =	万円
	円 × H ×	日 × 人 =	万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

<p>(1)事業概要 事業種別:多機能型事業所(児童発達支援/放課後等デイサービス事業) 利用定員:1日10名 営業日:月曜～土曜日 日曜・祝日 休み 営業時間:11:00～18:30 サービス提供時間:12:30～18:30 ※児童発達支援と放課後等デイサービスは同時時間帯は利用できない ※長期休暇中(夏休み・冬休み)も同じ時間帯で提供 主たる対象者:年中～中学生 送迎の有無:あり(送迎エリアは15分圏内 応相談) 協力医療機関:細木小児科 その他:</p> <p>(2)開設事業に係る理念・基本方針 子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、褒めて伸ばす支援を行います。 得意なことや興味のあることを中心に、出来ることから少しずつ自己肯定感やコミュニケーション力を育む。</p> <p>(3)事業内容 多機能型として、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の直接支援業務 『発達障害』『子育て』についてのセミナー業務</p>	<p>主な修正点</p> <p>●サービス提供時間の修正 ●協力医療機関の追記 ●長期休暇中について追記</p>
---	--

13 利用者処遇

<p>(1)具体的な支援(療育)内容及び目的 【目的】利用者が自信をもって日常生活を過ごせるようにスキルを学び、 『褒める』ことで自己肯定感・自己効力感を高め、いろいろなことに挑戦する気持ちを育む。</p> <p>【内容】◆児童発達支援◆ 日常生活の機能訓練や小学校の入学準備を行ったり、保育園や幼稚園のように遊びや学びの場を提供するなどの支援</p> <p>◆放課後等デイサービス◆ ニーズに応じて就学中の子どもたちに、社会とつながりを持つための訓練や、生活能力を高めるための支援</p> <p>2～3人の小集団で行う『個別療育』と6人以上で行う『集団療育』の2つを時間を区切って毎回行い、 「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5領域の視点を持って、 本人の得意なことや好きなことを考慮して以下の課題に取り組む。</p> <p>◆個別支援◆ ・ビジョントレーニング(点つなぎ、マスコピーなど) ・工作 ・読み書き練習 ・聞き取りワーク ・読解ワーク ・学校の学習フォロー ・ソーシャルスキルトレーニング ・社会性の学び など</p> <p>◆集団支援◆ ・感覚統合を考慮した集団ゲーム(風船バレー・さかな釣り) ・言葉の類推機能を考慮したゲーム(クイズ・連想ゲーム) など</p> <p>(2)支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など ・保育士、児童指導員 ・児童福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士 ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等</p> <p>(3)職員の質向上のための教育・研修計画 昇給条件として、外部資格取得を設定。 年間計画を立て、毎月1回のスタッフ全員で社内研修を行う。 毎年行われている小児心身医学会 地方会への参加予定。</p> <p>(4)感染症対策 支援中、スタッフはマスク着用。 利用児は、来所時に検温・手洗い・アルコール消毒をする。 吐しゃ物用の処理道具を常備し、社内研修で対応を確認。 毎年1回、社内テーマとしてスタッフ全員で学び、情報共有と意識付けを行う。</p> <p>(5)事故防止等の安全確保策及び発生時の対応 家族、協力医療機関、市と速やかに連絡を取り必要な措置を講ずる。 万一の事故に備えて、損害保険に加入し賠償すべき事故が発生した場合は適切に対応する。 毎年1回、社内研修のテーマとしてスタッフ全員で学び、情報共有と意識付けを行う。</p> <p>(6)関係機関との連携 ケース会議はもちろんのこと、保護者からの依頼があれば、保育所、幼稚園、小学校、中学校の授業見学を行い、各関係機関と情報共有を積極的に行う。 自立支援協議会や連絡協議会へ積極的に参加し各関係機関と情報共有を行い連携する。</p> <p>(7)家族(保護者)支援 全保護者には定期的(3ヶ月～6ヶ月)に個別面談等を行い、保護者と情報共有・サポートを行う。 送迎を利用しない保護者に対して、利用後に担当者を通してリアルタイムで情報共有・サポートを行う。 送迎を利用する保護者に対して、送迎時では時間があまりとれないため、必要に応じて面談を行い情報共有・サポートを行う。 保護者向けの『発達障害』『子育て』についてのセミナーを企画し、保護者間つながりのサポートを行う。</p> <p>(8)その他</p>	<p>主な修正点</p> <p>●サービス毎の支援内容や具体的に取り組む内容について追記しました</p>
--	--